

CAP・みなみ北海道 どうなん通信

CAP(キャップ)とは・・・

Child Assault Prevention(子どもへの暴力
防止)の頭文字をとったもので子どもが暴力から
自分を守るための人権教育プログラムです。



あんしん



じしん



じゅう

J-CAPTA ホームページ <http://jcapta.org/>

じ-CAPTAの年次総会がこの夏、函館で開催されます。CAPが日本で活動し始めておよそ15年。日本各地で子どもたちの安全と権利を守るために活動し続けてきた仲間が集まってきます。

日本の子どもたち、とりわけ虐待やいじめなどの暴力にさらされている子どもたちの役にたつプログラムにやっと、出逢えた感動がスタートでした。

また、子どもへの暴力が起こる要因を社会から減らすために、おとな自身が変わっていく気付きのヒントが、CAPの理念にはたくさん込められています。

今日、子どもへの暴力は減っているとは言えません。私たちはCAPの輪をこれからも広げ、ひとりでも多くの子どもたちにCAPを届けたいと思って印す続けたいと思っています。

CAP・みなみ北海道は、1999年7月CAPプログラムを実施する市民グループとして発足。函館市、渡島、檜山の地域の幼稚園、保育園、小学校、PTA、行政、市民団体などから依頼を受けて、多くの子どもとおとなにCAPのメッセージを届けてきました。これまでの道南地域のワークショップ実施回数は1042回、参加者数は2万5千人をこえています。

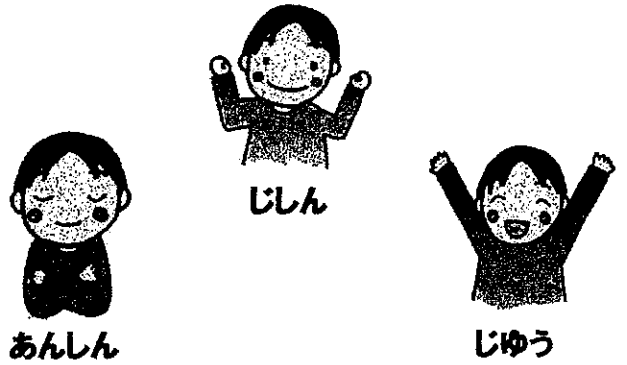
CAPをすべての子どもたちへ

～子どもが暴力から自分を守るために、
何が出来るかを具体的に伝えるCAP～

CAP 3つの柱

3つの権利

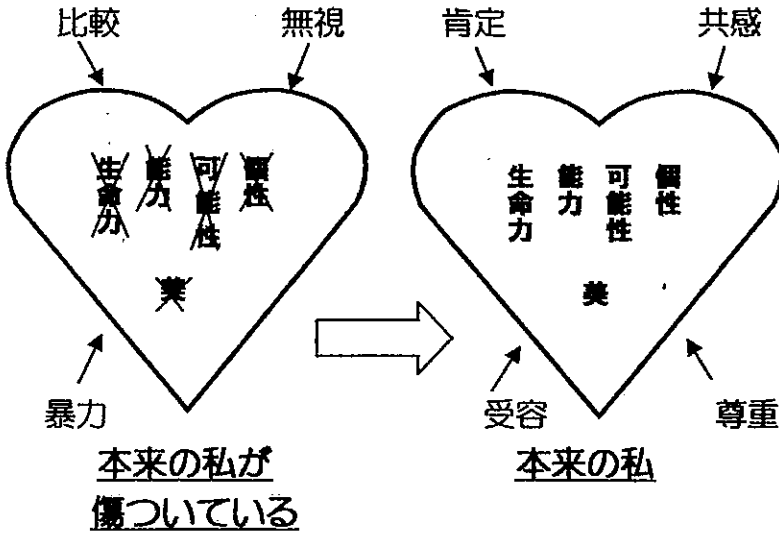
子どもは安心して自信を持って自由に生きる権利を持っていることを伝えます。CAPが考える権利意識は、「自分という存在を大切にする心のありかた」です。自分を大切に思える心を持っている子どもは、自分を守る力をだせます。



あんしん

じしん

じゆう

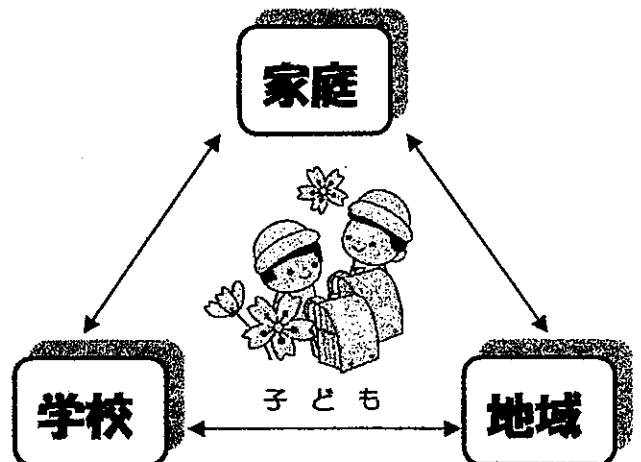


エンパワメント

エンパワメントは人は皆生まれながらに様々な素晴らしい力、個性を持っているという考え方から出発し、その力を十分に発揮できるよう働きかけることです。CAPは子どもを守るべき弱い存在と見るのではなく、子どもの話に耳を傾け、共に考えることで、子どもが自分で問題を解決する力を高める支援をします。

コミュニティ

CAPは人権意識を育て、おとなに子どもの人権を尊重することを啓発することで暴力のない安全な社会をつくる運動です。いじめや虐待などの暴力のない社会をつくるためには、家庭と学校と地域の協力が不可欠です。家庭・学校・地域が一体となって、子どもの安全と権利を守り支えていきます。



CAPワークショップ子どもアンケート

もしも、「自分がいじめなどにあつたら、とくべつなさけびかたなどいろいろならつたことをつかいたいとおもいました。あと、友だちをたすけたいとおもいました。



どんな時でもけんりを守るためいやだと言うことと、それができなかつたらそう談したり、友だちの力をかりることがわかりました。

けんりをとりあげられたら人がきづつくことをわかつたのでじぶんもけんりをとらないようにします。
ほんとうに。



ぼくは感じたことは、やさしい心です。げきをやってぼくはやさしい心がわかりました。けんりをやって見て、楽しかつたです。

げきがすごく楽しかつたです。安心、じしん、自由もわかつて勉強になりました。今日教えてもらったことをやっていきたいとおもいます。



げきを見て自分ができることがわかりました。その時どうしたらよかつたのか、問いかけてくるので、わたしはどう答えるのかひしひしに考えました。CAPの勉強をしたためになりました。

「権利」といふものが「どのよふなものかわからない子どもたちに、3つの特別な権利として具体的に身ぶりを交えて「安心・自信・自由」を説明していただくことが印象的でした。これらの権利があることをしっかりと教えてもらつただけでも励まされている気持ちになり、自信につながると思いました。また「イヤ」と言つても良い、「逃げる」と「相談する」との具体的な例を演劇形式にしていてわかりやすかつたです。知らない人から逃げる時の防御方法も、声の出し方を実際に行つてみて、どうするのか……とわかりました。

劇がとてよかつたと思つます。長々と説明されても飽きてしまつし、大事なところもわからなくなつます。劇をするこゝで大事なことがはいつてきやすしいし、楽しく見るこゝができました。手ぶりが身ぶりするこゝも、いいなと思つました。子どもの心にも残るだらうなと思つました。

人間にはみな権利があり、その権利は決して他人によつておかさずにはいけないものであり、その権利を守るためにどうしたら良いのか子どもたちに、わかりやすい言葉で話していただいたのが良かつた。また、劇を通して実際に人権がおかされそうになつた場合どうすればよいのか見せるこゝはとてよわかりやすかつたし、子どもも一緒に劇に参加するこゝで、参加した子どもの自信につながつただけでなく、見ている子どもその子を自分に置き換え見ることがおとなが行つた場合より容易になるので良いなと思つた。

大学生アンケート

インフォメーション

2013年度 J-CAPTA総会

- 8月24日(土)、25日(日)
函館亀田福祉センター 0138-42-7023
(函館市美原1丁目26番12号)

すべての子どもたちに「あんしん」「じしん」「じゆう」を届けるために...

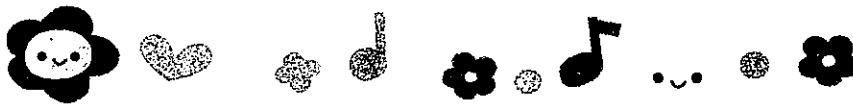
スタッフ募集

毎月2回函館市青年センターで例会をしています。
関心のある方は、事務局へお問い合わせ下さい。

《 お願い! 》

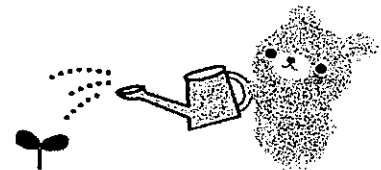
CAP・みなみ北海道の活動に共感し
て下さる方、資金面でご支援ください。

年間 一口 1,000円
郵便振替口座 02700-8-1798
加入者名 CAP・みなみ北海道
●通信をお送りいたします。



CAP 公開ワークショップのご案内

- 6月23日(日) 13:00~15:00
地域交流まちづくりセンター 0138-22-9700
- 7月8日(月) 18:30~20:30
七飯町文化センター 0138-66-2066



あんしん



じしん



じゆう

CAP・みなみ北海道 代表 高野 真砂子

Child Assault Prevention (子どもへの暴力防止)

事務局(川口)〒041-0851 函館市本通 3-3-8
Tel&Fax 0138-32-0302